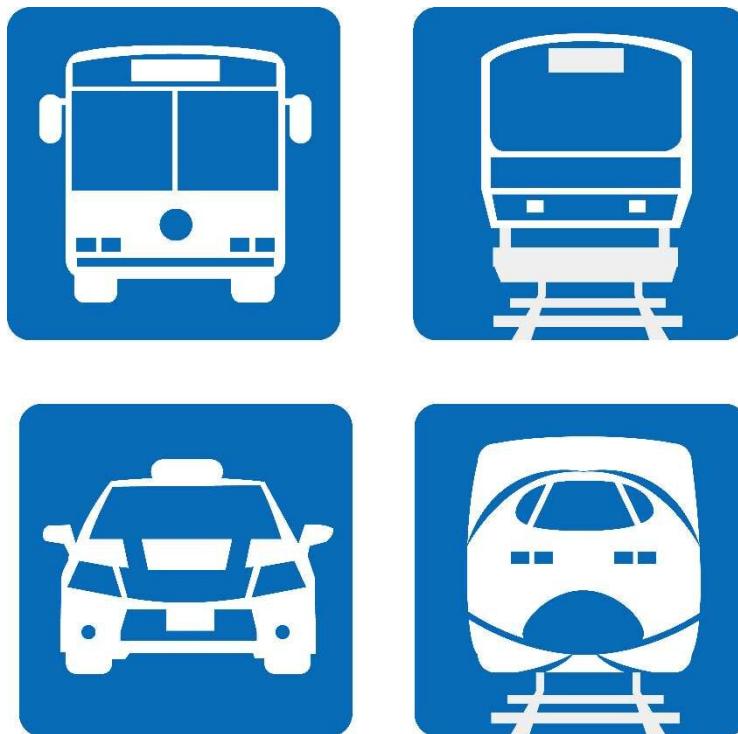


総社市総合交通戦略

【概要版】



令和2年3月
(令和8年3月改定)

総 社 市

1. はじめに

(1) 計画策定の背景と目的

本市が目指す「全国屈指の福祉文化先駆都市（総社市総合計画）」の実現に向けて、誰もが自由に移動できる公共交通の整備と持続可能性の確保は非常に重要な問題となっています。そこで、将来のまちづくりと連携し、公共交通の更なる利便性向上を図ることで、財政上の負担は生じるもの、外出機会の増加や移動利便性の向上により、健康増進や暮らしやすさの向上、地域活性化、さらには脱炭素社会の実現など、市民にとってプラスの相乗効果に導いていく必要が生じています。

このような認識のもと、この度、総社市におけるこれからの地域公共交通のあり方や目標、取組みを定めた「総社市総合交通戦略」を策定いたしました。

今後は本計画のもと、まちづくりの各分野と連携しつつ、市民・来訪者の双方にとって使いやすく、将来にわたって持続可能な公共交通サービスの形成を進めてまいります。

(2) 計画の位置付け

【上位計画】

- ・第3次総社市総合計画（R8.3）
 - ・岡山県南広域都市計画区域マスタープラン（R8.3）
 - ・総社市都市計画マスタープラン（R8.3）
 - ・総社市立地適正化計画（R1.11）

【関連計画】

- ・社会資本総合整備計画
 - 晴れの国おかやま生き活きプランによる安全・安心な通学路等の確保の推進（防災・安全）（岡山県）
 - 地域を支える産業の振興のための道路整備による「生き生き岡山」の実現（岡山県）
 - ・岡山県地球温暖化対策実行計画
 - ・第4期総社市障がい者計画
 - ・総社市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画



(3) 計画の区域

本計画は、総社市全域を対象とします。

(4) 計画の対象期間

The diagram illustrates the planning cycle. At the top, ten columns represent the years from Heisei 2 (2020) to Reiwa 11 (2029). Below this, a large orange arrow labeled "基本的な方針：10年間" (Basic Policies: 10 years) spans the entire period. In the center, a green arrow labeled "事業計画（前期）: 5年間" (Business Plan (Initial Period): 5 years) points to the first five years, ending at a vertical bar labeled "改定実施" (Review and Revision). The remaining five years are labeled "事業計画（後期）: 5年間" (Business Plan (Final Period): 5 years).

2. 地域公共交通をめぐる課題

人 口

- 令和2年の人口は約6.9万人だが、令和32年には約6.2万人まで減少（将来推計）

高 齢 化

- 令和2年の高齢化率は28.3%だが、令和32年には34.6%まで上昇（将来推計）
- 雪舟くんの利便性向上やバリアフリー化の推進など、高齢社会の移動環境づくり

都 市 施 設

- 都市施設が集中する拠点エリアへのアクセス性向上と中心部における回遊性向上
- 都市施設が集中する中心部で、安心して移動ができる、暮らすことのできる空間整備

観 光

- 点在する見所ある観光施設へのアクセス性向上
- 「吉備路自転車道」の有効活用

道 路

- 東西方向の路線に比べ、脆弱な南北方向の道路（整備）

鉄 道

- 基幹となる鉄道の運行本数増加、快適性向上やアクセス性向上
- バリアフリー化、駐車場・駐輪場整備など、鉄道の利便性向上

雪舟くん

- 予約型乗合方式の「雪舟くん」は、平日の8時～16時台のみ運行
- 予約が集中する時間帯を中心に生じる予約お断りの解消
- 運行日や運行台数、時間帯の拡充、利便性の向上などニーズに合った運行改善

外出状況

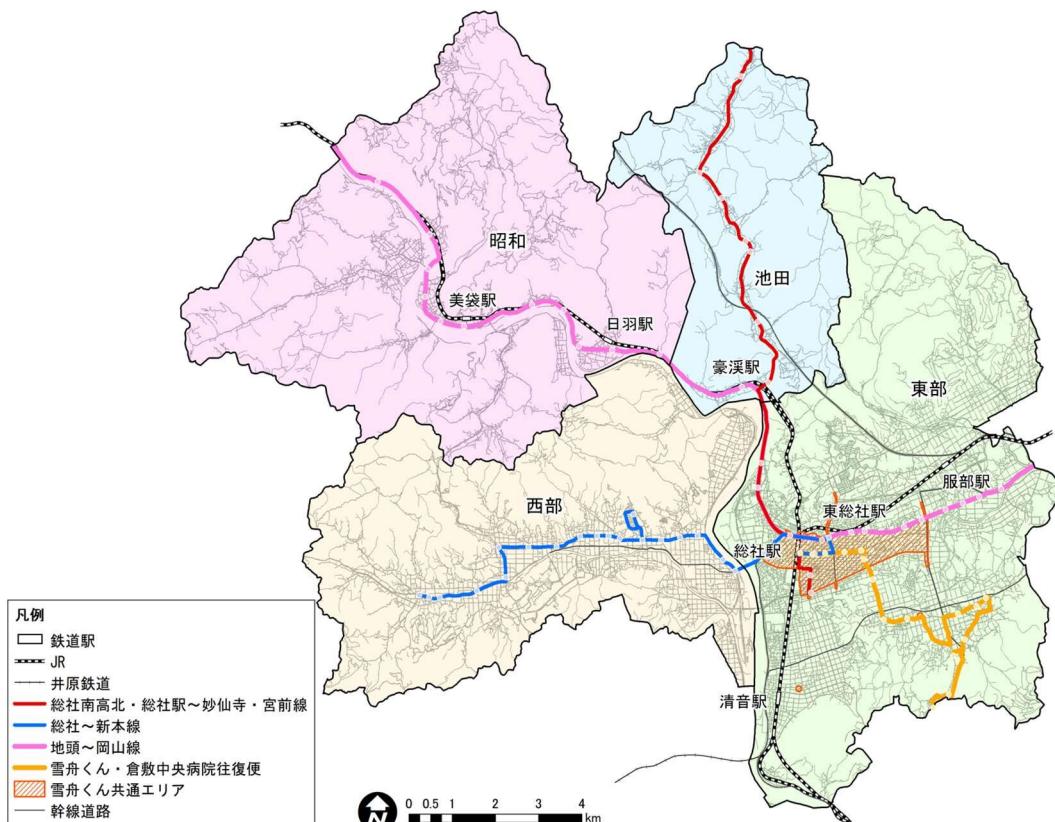
- 地域と連携して柔軟な運行が可能な新たな公共交通の導入

外部環境

- バス・タクシーの運転手不足（全国的な傾向）への対応

現在の総社市における公共交通ネットワーク

鉄道はJR伯備線、JR桃太郎線及び井原鉄道井原線の3路線が運行されています。一方、バス路線は運行路線や運行本数が限られています。そのため、予約型乗合方式による総社市新生活交通「雪舟くん」が市内中心部の共通エリアと市内4つの区域（東部、西部、池田、昭和）に分けて、市内全域をカバーする形で運行しています。



3. 本計画の理念と目標

(1) 本計画の理念（総社市の公共交通の理念）

暮らしやすいまちの実現に向けた地域交通体系の構築
～「全国屈指の福祉文化先駆都市」を支える交通まちづくり～

(2) 本計画における目標

目標1 将来にわたり、安心快適に移動できる！ ～各鉄道駅への二次交通の充実による安心・快適な移動の確保～

将来にわたる拠点間の移動手段の確保や各鉄道駅への二次交通の充実を目指すとともに、中心部では安心・快適な移動空間の整備を行うことでにぎわいのある魅力的なまちづくりの礎とします。

目標2 市内外への移動を充実・強化する！ ～本市の基幹・鉄道の強化による移動性向上と交流拡大～

JR 伯備線、JR 桃太郎線及び井原鉄道井原線の利便性向上を図ることにより、生活圏が隣接する地域において、市域を越えた交通体系の構築を図っていきます。

目標3 誰もが外出しやすい環境を整備する！ ～ユニバーサルデザインによる使いやすさ向上と利用促進～

鉄道、バス、雪舟くんといった身近な公共交通や福祉交通が全ての人にとって使いやすいものとなるために、施設のバリアフリー化はもとより、交通情報の充実を図ることで、誰もが外出しやすい環境を整備します。

目標4 観光客が楽しんで観光地を周遊することができる！ ～レンタサイクルの促進や観光タクシー等の促進による観光文化の振興～

市内バス・タクシー事業者や観光関連団体等との連携により、レンタサイクル事業者やJR「駅から観タクン」等のタクシー事業者への情報提供等により、観光客が楽しんで自由に周遊できる環境を整えていきます。

目標5 みんなが主体となって考え、改善する！ ～市民・交通事業者・民間企業・行政の連携による公共交通の継続的改善～

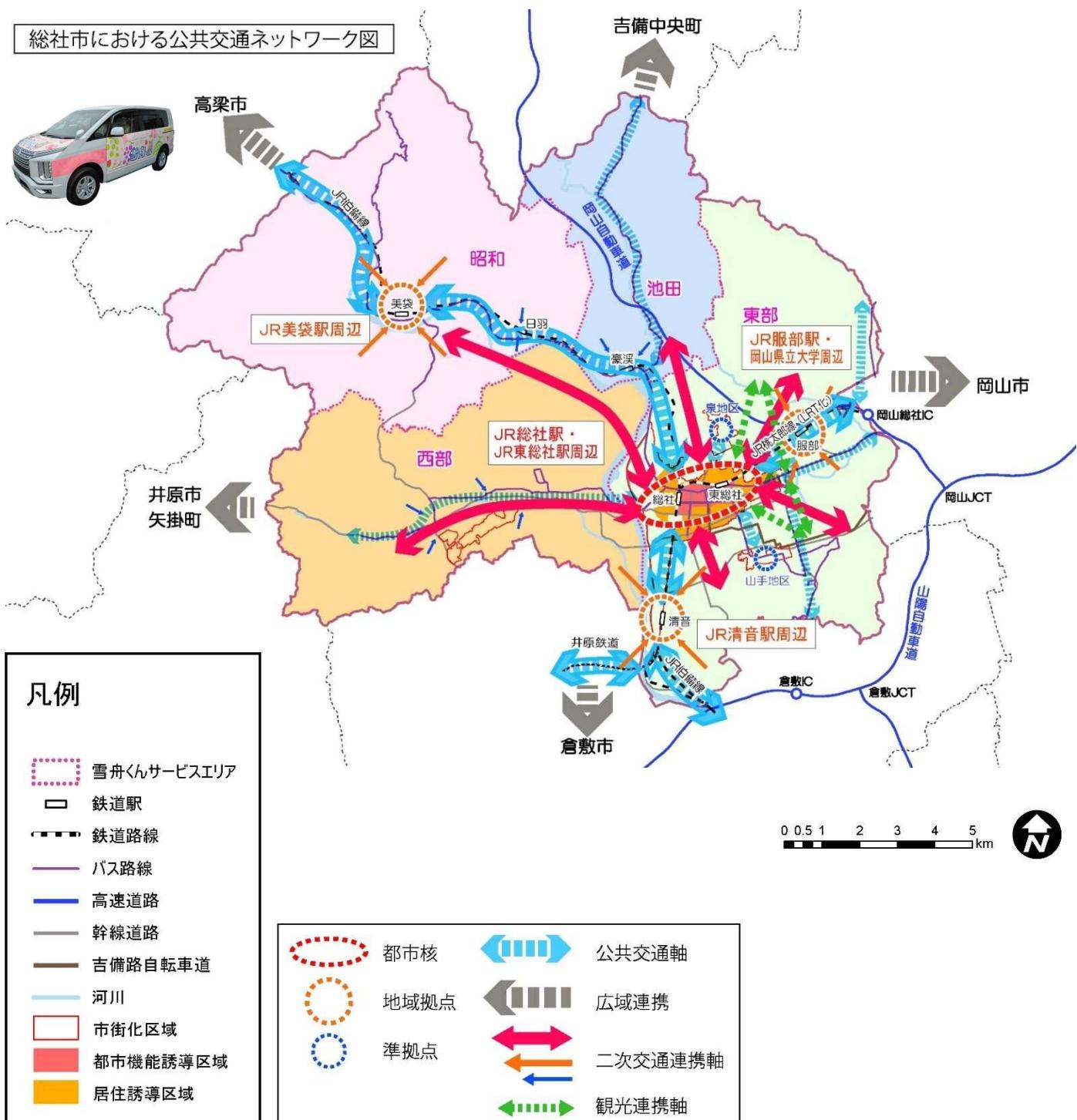
市民・交通事業者・民間企業・行政が三方一両損の精神を持ち、それぞれの好循環に繋げることができるよう協働で公共交通の再生・活性化に取り組んでいきます。

目標6 中心部の魅力UPにより、健康づくりや交通安全にもつなげる！ ～幹線道路や歩行者空間の整備により地域の経済活動や健康づくり、交通安全を支える～

魅力的なまちづくりと公共交通の利用を連動させるため、商業施設等と連携し、公共交通利用者向けの特典・サービスを拡充していくとともに、安心・安全な交通環境の確保に向けた幹線道路・歩行空間の整備を推進します。また、関係機関と連携し、自動運転の公共交通への導入等について検討を進めています。

(3) 本戦略における将来の公共交通ネットワーク

鉄道を軸として、総社市新生活交通「雪舟くん」や新たな二次交通により、まず駅まで、さらに中心部まで結ぶ公共交通ネットワークの構築を目指します。



凡例

- 雪舟くんサービスエリア
- 鉄道駅
- 鉄道路線
- バス路線
- 高速道路
- 幹線道路
- 吉備路自転車道
- 河川
- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

- | | |
|--------|-----------|
| ○ 都市核 | ○ 公共交通軸 |
| ○ 地域拠点 | ○ 広域連携 |
| ○ 準拠点 | ○ 二次交通連携軸 |
| | ○ 観光連携軸 |

0 0.5 1 2 3 4 5 km



4. 目標実現に向けた事業内容と業績評価指標

(1) 目標実現に向けた事業イメージ

6つの目標の実現に向け、実施すべき事業のイメージを示します。

目標 1. 将来にわたり、安心快適に移動できる！

事業対象 雪舟くん

①継続的な運行システムの改善

- 共通エリアの見直しや最適なエリア区分への改善を進めます。
- 継続的な運行の実現のため、利用方法や運行エリアなどの説明と市民ニーズ調査により、利用者拡大に努めています。



事業対象 運行体系の見直し

③運行体系の見直し

- 各鉄道駅への二次交通の充実及び中心部における回遊性向上を図るため、定時型路線の導入等について、路線数や経路、予約型、国県補助など現行の路線の統廃合を含め、制度設計のための検討協議を進め、運行体系の見直しを図ります。

事業対象 その他交通手段

④既存交通手段の継続運行

- 「総社～新本線」、「雪舟くん・倉敷中央病院往復便」、タクシー、福祉有償運送、スクールバス、総社市版ライドシェアについては、継続的に運行します。

目標 2. 市内外への移動を充実・強化する！

事業対象 鉄道

①鉄道事業者に対する利便性向上の要請

- JR西日本や井原鉄道に対し、利便性の向上に資する施設整備等を継続的に働きかけます。

②JR桃太郎線のLRT化に向けた継続協議

- JR桃太郎線のLRT化については、継続的に協議を行います。

③JR桃太郎線LRT化による新駅設置

- 新駅を設置し、駅の利用圏域を拡大することで、鉄道の利便性向上を図ります。

事業対象 幹線路線バス

④市外と結ぶ一般路線バスの継続運行

- 「地頭～岡山線」及び「総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線」については、継続運行とします。

目標 3. 誰もが外出しやすい環境を整備する！

事業対象 駅

①バリアフリー化の推進

- 駅等の公共交通施設が、誰にとっても利用しやすいものとなるようバリアフリー化を推進します。



②駅前広場等の整備

- 各駅において、駅前広場や自転車、歩行者等も安全に利用できるアクセス道路の整備等により、より乗り継ぎしやすくアクセス性の高い駅を目指します。



③パーク & ライド駐車場/サイクル&ライド駐輪場の整備

- 各駅において、パーク&ライド駐車場/サイクル&ライド駐輪場の整備等により、より利便性の高い駅を目指します。



④公共交通情報の充実

- 施設案内表示、公共交通運行ダイヤ、乗り場情報の充実やリアルタイム運行情報・所要時間の見える化など、誰もが目的地に出かけやすい環境整備を図ります。あわせて、総社を訪れる方々のため、観光や沿線上のPRマップなどの充実を図ります。

目標 4. 観光客が楽しんで観光地を周遊することができる！

事業対象 観光客用移動手段

①観光タクシー等の促進

- 鬼ノ城や備中国分寺、宝福寺などの観光文化施設にインバウンドを含め県内外から多くの観光客に訪れてもらえるようJR「駅から観タク」等のタクシー事業者への情報提供等を行い、関係機関と協働し実施します。



②レンタサイクルの促進

- 吉備路自転車道の沿線に点在する史跡や古墳、自然、日本遺産に指定された史跡などを楽しんで周遊することができるよう、レンタサイクルの充実を図ります。



目標 5. みんなが主体となって考え、改善する！

事業対象 交通環境改善

①総社市地域公共交通会議の充実

- 計画の着実な実施、事業進捗の管理や適切な見直しを年1回以上行うために、市民や交通事業者等で施策内容を協議する地域公共交通会議を継続的に開催します。

②利用者満足度の向上

- 限られた予算の中で効率的・効果的に公共交通の改善を行うために、現在の利用者やこれからの利用者となる市民ニーズをしっかりと把握するための公共交通満足度市民アンケート調査を実施します。

③公共交通利用促進のためのイベント開催

- 市内の各種施設やイベントと連携して、高齢者や小中学生以下の児童・生徒を対象とした、公共交通の利用促進イベントを実施します。具体的には、予約が必要な雪舟くんの乗り方・使い方について、出前講座を実施します。

④運転免許返納支援

- 運転免許証を返納した方や運転免許証の返納を考えている方等に対して、運転免許証返納者が利用できる割引制度を実施します。具体的には、運転免許証返納者に対し、雪舟くん利用券の交付を継続します。

⑤運転手確保のための行政による広報

- 運転手不足を見据え、交通事業者と連絡を取りつつ、市民に現状を伝えます。

事業対象 新たな地域公共交通の創設

⑥地域主体の公共交通の環境整備

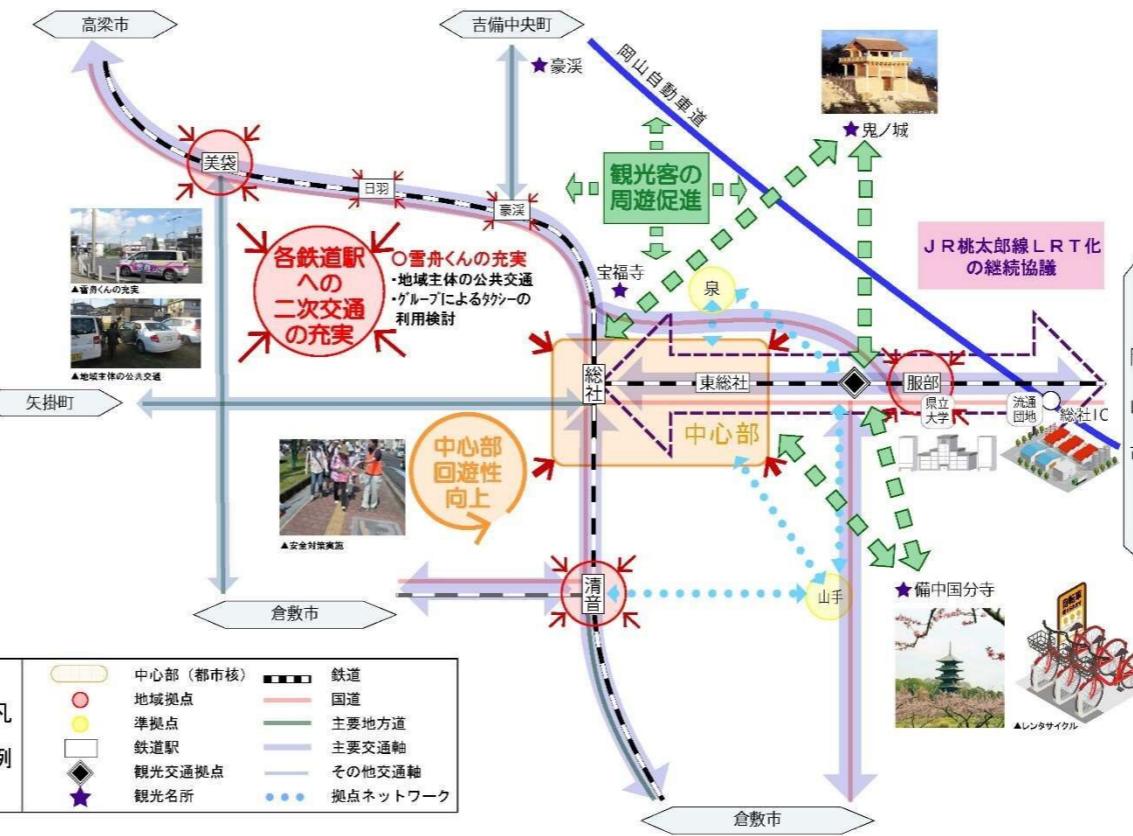
- 買い物支援等地域が主体となって運行する公共交通の創設について要望のある地域に対して、制度や届け出等手続き方法を指導するとともに、PRを進め、他地域でも導入しやすい環境を整備します。



⑦グループでのタクシー利用環境の整備検討

- 市民が利用しやすいタクシーを目指すため、地域住民の要望に応じ、タクシーの共同利用ができる環境整備についての検討を行います。

総社市総合交通戦略イメージ図



目標 6. 中心部の魅力UPにより、健康づくりや交通安全にもつなげる！

事業対象 歩道、道路

①商業施設等との連携

- 魅力的なまちづくりと公共交通の利用を連動させるため、商業施設等と連携し、公共交通利用者向けの特典・サービスを拡充していきます。



②南北方向整備路線の整備

- 市の東西に国道180号バイパスが整備される中、道路ネットワークの構築による都市内移動の円滑化や中心市街地の渋滞緩和を図るために、南北方向整備路線の整備を進めます。

③歩行・自転車空間の整備

- 交通弱者である子ども、高齢者、障がいの方にとっても、安全・安心な交通環境の確保のため、歩行・自転車空間の整備を進めます。



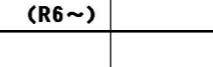
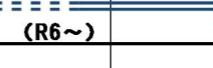
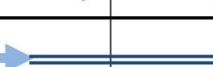
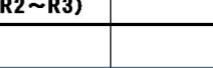
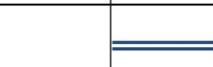
④歩いて楽しいまちなか空間の創出

- 都市中心部や生活拠点において、歩行者が「歩いて楽しい」と感じられる空間の創出を目指します。具体的には、歩行者ネットワークの強化、滞留・交流を促す広場や緑地の配置、バリアフリー化の推進などについて、関係機関との協議を進めています。

⑤自動運転の検討推進

- 自動運転技術の本格的な実用化に向け、公共交通への導入やカーシェアリング、グリーンスローモビリティといった交通策について、関係機関と連携し検討を進めます。

(2) 業績評価指標

目標	事業対象	事業内容	実施スケジュール			実施主体（◆:主、◇:関連）				業績評価指標	計画開始時 (平成30年度)	中間見直し時 現況値(令和6年度)	目標値 (令和11年度)
			前期 (H30～R6)	後期 (R7～R11)	将来 (R12以降)	行政	市民 地域	企業	交通 事業者				
1. 将来にわたり、安心快適に移動できる！	雪舟くん	①継続的な運行システムの改善				◆	◇		◆	登録者数	18,767人	22,060人	26,000人
		②運行台数や料金等の見直し				◆	◇		◆	利用者数	214人/日	178人/日	250人/日
	その他交通手段	④既存交通手段の継続運行				◆	◇	◇	◆	予約お断り件数	約15件/日	約5件/日	0件
						◆	◇	◇	◆	市内路線バスに係る市の財政負担額 (地頭～岡山線含む)	—	800万円/年	800万円/年
	2. 市内外への移動を充実・強化する！	鉄道	①鉄道事業者に対する利便性向上の要請			◆	◇		◆	利用者数 JR西日本：総社市内 7駅	JR西日本： 14,926人/日	JR西日本： 14,266人/日	JR西日本： 15,000人/日
		幹線路線バス	④市外と結ぶ一般路線バスの継続運行			◆	◇		◆	市内路線バスの利用者数 (総社～新本線含む)	—	84人/日	100人/日
3. 誰もが外出しやすい環境を整備する！	駅	①バリアフリー化の推進				◆	◇		◆	鉄道利用満足度 	29.8% (平成26年 第2次総社市総合計画策定のためのアンケート調査結果 公共交通の利便性の向上に関する満足度)	33.3% (令和6年第3次総社市総合計画策定のための 市民満足度調査 公共交通の利便性の向上に関する満足度)	50%
		②駅前広場等の整備				◆	◇		◆				
		③パーク＆ライド駐車場／サイクル＆ライド駐輪場の整備				◆	◇		◆				
		④公共交通情報の充実				◆	◇		◆				
4. 観光客が楽しんで観光地を周遊することができる！	観光客用移動手段	①観光タクシー等の促進				◆		◇	◆	観光タクシー運行件数	129件/年 (総社市観光協会企画分はR1年度の件数を計上)	11件/年	15件/年
5. みんなが主体となって考え、改善する！	交通環境改善	①総社市地域公共交通会議の充実				◆	◇	◇	◆	総社市地域公共交通会議の開催回数	年1回	年1回	年4回 (計画期間中)
		③公共交通利用促進のためのイベント開催				◆	◆	◆	◆	雪舟くんの出前講座開催回数	—	年2回	年2回
		④運転免許証返納支援				◆	◆	◆	◆	運転免許証返納率	—	1.90%	2.00%
	新たな地域公共交通の創設	⑥地域主体の公共交通の環境整備				◆	◆	◆	◆	新規創設数	新規	5団体 (うち総社市版ライドシェア登録3団体)	10団体
6. 中心部の魅力UPにより、健康づくりや交通安全にもつなげる！	歩道、道路	①商業施設等との連携				◆		◇	◆	商業施設等との連携	1企画/年	1企画/年	2企画/年
		②南北方向整備路線の整備				◆				南北方向整備路線の整備率	0%	59%	100%
		③歩行・自転車空間の整備				◆	◇			市民の外出率	平日：78.4% (H27年度) 休日：60.6%	平日：77.4% (R3年度、コロナ禍の数値) 休日：51.0%	平日：80.0% 休日：70.0%

実施スケジュール
 ●検討・調整: 施策実施に向けて検討や関係機関との調整を実施(→)
 ●実施: 施策実施(→)
 ●継続: 計画期間外も検討・調整や施策実施を継続(■→)

5. 計画の推進に向けて

(1) 計画の評価・改善

① P D C A サイクルによるスパイラルアップ

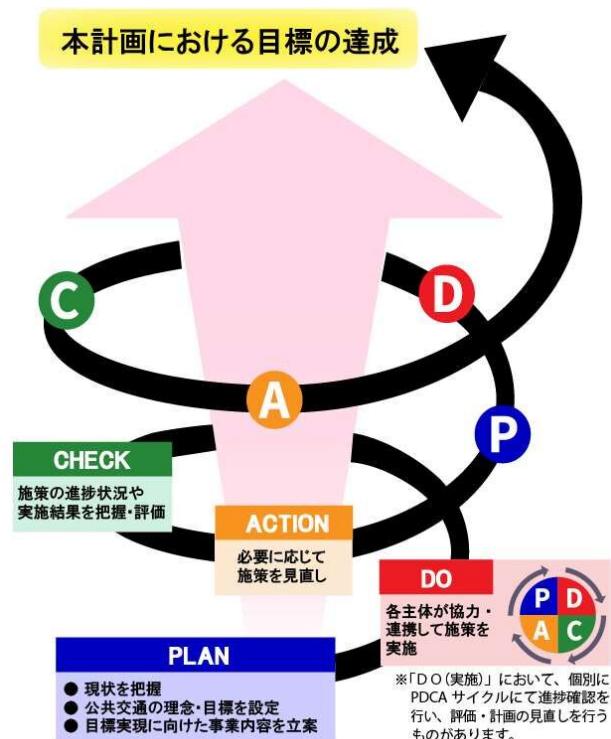
本計画は、計画を策定し記載事業を実施したら終了というものではなく、「みんなが親しみ、みんなで育む地域公共交通」の実現のためには、事業の進捗状況や効果を検証し、計画の内容を絶えず見直していくことが必要です。

具体的には、「計画（PLAN）」「実施（DO）」「評価（CHECK）」「改善（ACTION）」の4段階のサイクル（PDCAサイクル）により、市民や交通事業者の意見を反映させながら、より地域のニーズに合った公共交通へと改善を進めています。

「総社市地域公共交通会議」を活用し、各事業の進捗状況について、毎年、把握を行い、必要に応じて計画の改善を図ります。また、計画見直しの状況は随時公開し、市民との情報共有を図ります。

② 評価・改善のスケジュール

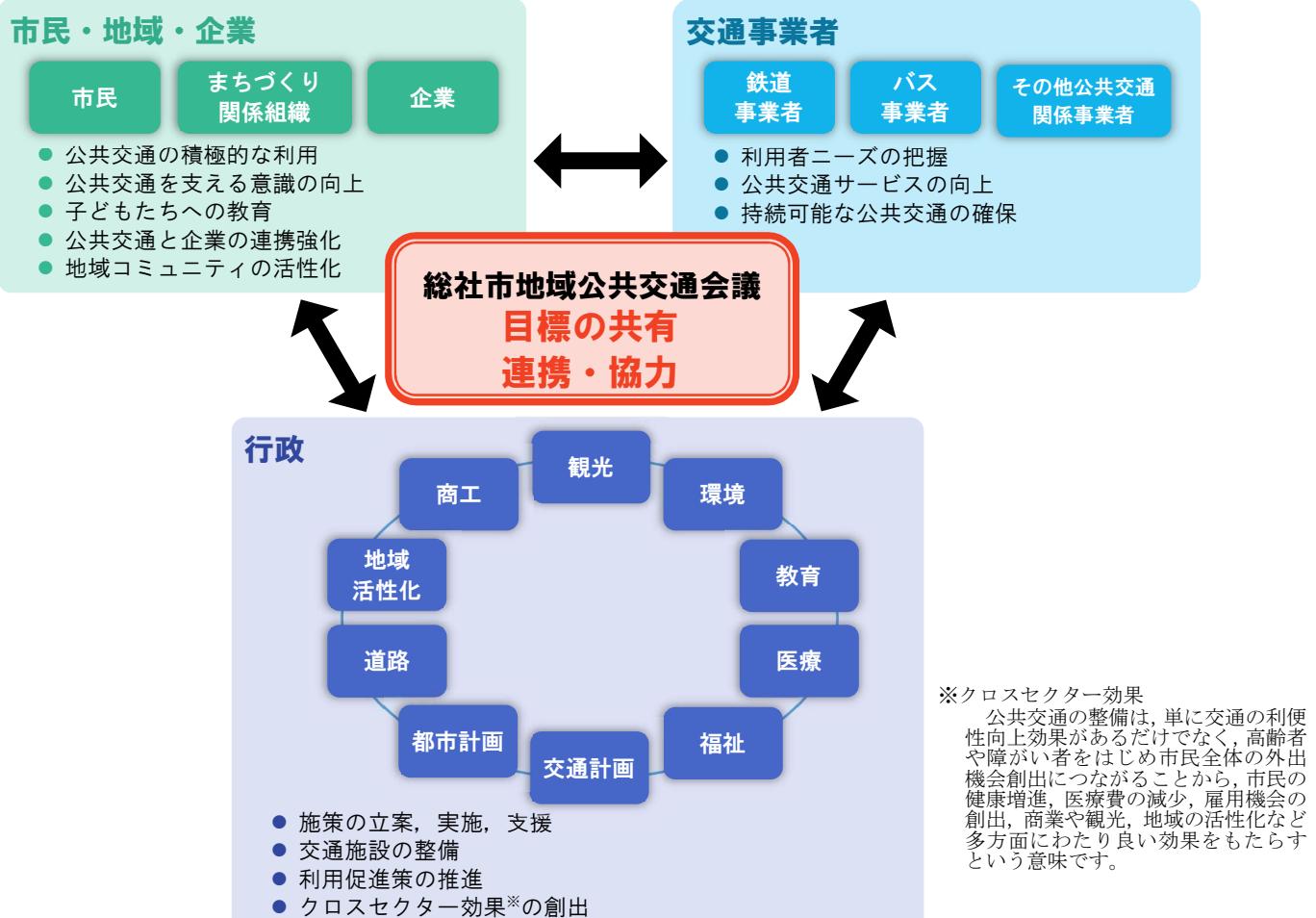
進捗状況及び効果の評価は毎年行います。



(2) 計画の推進体制

本計画は、市民・地域、企業、交通事業者及び行政の三者で目標を共有し、各自がそれぞれの役割を果たしつつ、相互に連携・協力しながら推進します。

また、府内においては、交通関係部局のみでなく、観光、福祉、環境などの各部局が連携し、全庁横断的な協力のもとで計画を推進します。



総社市総合交通戦略 【概要版】

令和8年3月発行

岡山県 総社市 あたたか市民部 交通政策課

〒719-1192

岡山県総社市中央 1-1-1

TEL:0866-92-8249 / FAX:0866-93-9479

E-mail:kotsu@city.soja.okayama.jp